

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 36

## 東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日  
例 会 日 毎週月曜日 12:30~  
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪  
事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38  
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号  
TEL. 06 (6772) 2320  
FAX. 06 (6772) 2327  
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会 長 浅 野 光 男  
会長エレクト 岩 崎 史 郎  
副 会 長 鈴 木 勝 俊  
幹 事 小 川 高 弘  
会 報 委 員 長 大 石 忠 克

## Reach within to Embrace Humanity こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011~2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

第 1849 回例会 平成 24 年 5 月 7 日 (月曜日) 第 36 号

### 本日の例会

5月7日(月)第1例会

- ◎ソング 「君が代」「我等の生業」
- ◎卓 話 「第2回目のインシャルスピーチ」  
(担当:渡辺 斌 会員)
- ◎本日の献立 フランス料理

### 次回の例会

5月14日(月)第2例会

- ◎卓 話 「刑事裁判の弁護人として」  
(担当:岡本慎一 会員)
- ◎本日の献立 松花堂弁当

### 前回の例会記録

4月23日(月)第4例会

### 会 長 挨拶

会 長 浅野光男

この処雨が多い日々が続きますが、山々では若葉がシュンシュンと音をたててあざやかな新緑の風景に変化して来て、見る者の目を癒してくれております。

さて、先週は献血運動奉仕並びに東輪会ゴルフ会と、お忙しい中ご参加戴きまして有難うございました。特に、献血運動奉仕では宮崎社会奉仕委員長並びに宮田副委員長におかれましては朝早くから夕時まで終日最後までお世話戴き有難うございました。後ほど各委員長よりご報告して戴きます。

4月後半となり、今期も後わずかと成って参りました。

しかしながら各委員会の活動におきましてはまだ色々と宿題が残っているかと思いますが後一息、よろしく願い致します。

今期理事役員会におきましても、東日本大震災へのクラブ独自の長期的な奉仕活動の実施、クラブ細則の見直し検討、クラブ活性化、等々今期中に実行しなければならない活動及び宿題も有り、しっかりと腰ひもを巻き直しておる処であります。

又この後倒会終了後、次年度の第1回クラブ協議会が開催されます。岩崎次年度会長にクラブ一丸と成ってついで行く事におきましても、今期の各委員長並びに会員諸氏におかれましては、次年度組織名簿も既に承認容認されておりますので、今期中に各委員会レベルで申送り会等を開催して戴き、次年度の会運営がスムーズに流れますようご協力戴きたいと思致します。

### 幹 事 報 告

幹 事 小川高弘

1. 本日、例会終了後、次年度第1回クラブ協議会及び2012~2013年度第1回事前理事会を3階 葛城の間で開催致します。次年度理事・役員、各委員会委員長各位には宜しくお願い致します。
2. 今週28日(土)は次年度のための地区協議会が開催されます。ご出席者各位には宜しくお願い致します。
3. 次回5月7日(月)例会終了後、第11回定例理事・役員会を5階カトレアの間で開催致します。理事・役員各位

には宜しくお願い致します。

4. 先日、配付致しましたロータリーの心と実践(2012年 改訂版)で訂正がありました。訂正のお知らせをポストに入れてありますので、宜しくお願い致します。
5. 5月13日(日)開催されます「東大阪市民ふれあい祭り」のパレードに参加をお願い致します。回覧を回しています。
6. 他クラブ例会変更及び体会の案内を掲示しています。

## 出席報告

清水会員

本日の会員数	37名
本日の出席者数	25名
本日の出席規定適用免除会員	12名
本日の出席率	75.76%
4月9日の修正出席率	96.97%

## SAAニコニコ箱報告

和田副SAA

- 浅野会長 献血活動並びに東輪会ゴルフ会ご参加ありがとうございました。
- 小川幹事 東輪会2位でした。東輪会で3本目のキャディバッグいただきました。
- 佐藤会員 献血行事に参加できず失礼しました。
- 岩崎会員 東輪会ゴルフコンペ良い事がありました。
- 松岡会員 目に青葉の時節です。何があっても時は巡ります。楽しく厳しく豊かに過ごしたいものです。

## 委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 宮崎康治

献血結果報告

先週4月19日(木曜日)当クラブ主催の献血運動が実施されました。当日はポカポカ陽気で天候に恵まれたなか、浅野会長はじめ会員14名参加のもと、会員関係会社社員の皆様のご協力も得まして100名の受付人数がありました。ご協力有難うございました。

[参考] 受付数 100名 採血者数合計 78名  
(400ml 68名 200ml 10名)



## 親睦活動委員会

委員長 松浦永郁

4月20日に第2回東輪会が飛鳥カンツリー倶楽部で開催されました。当クラブからは9名の会員が参加され、成績は団体戦で優勝し、個人戦では岩崎会員がグロス81、ネット70.06で優勝、そして小川会員が同ネットスコアで第2位に入賞です。また参加者53名中4名の会員がベスト10にはいられました。以上ご報告致します。

## 卓話

「ハンガーゼロアフリカ

—東アフリカの干ばつの緊急支援を通して考える—

日本国際飢餓対策機構 常務理事 清家弘久様

東大阪中央RCには東日本大震災復興支援の際に大変お世話になり、心から感謝いたします。

震災からの復興にはまだまだ時間がかかります。仮設住宅ではすでに自殺者も出ており、それぞれの自立復興のための努力が急がれています。日本国際飢餓対策機構も復興への取り組みとして、現在まで活動している巨理町に加えて南三陸でも大工さんを投入して、復興のための活動を行っているところです。

世界では東日本大震災で命を落とされた人々と同じ数の人が、毎日飢えやそれに関連する病で亡くなっています。日経BP社から出ている「最底辺の10億人」(ポール・コリアー著)では最も貧しい人々が住んでいる国を敢えて記すならば、アフリカプラスαであると言っています。つまりアフリカ大陸全体とプラスα(ボリビア、ハイチ、北朝鮮、ラオス、ミャンマー、アフガンならびにその周辺国)にその人々がいるということです。アフリカが残っています。日本国際飢餓対策機構は「ハンガーゼロアフリカ」(アフリカの飢餓をゼロにする)という取り組みを行っています。そのためには子どもたちの教育が不可欠です。教育を受けている子どもは自分たちの将来の夢を語ります。しかし、学校に行くことができない子どもは大人になることさえままならないのです。日本国際飢餓対策機構は言葉は悪いのですが、子どもたちを一人でも多く拾って教育を受けさせてやりたいのです。その子どもたちが10年後、20年後の自分達の住むコミュニティを立て直す人となると確信しています。どうぞハンガーゼロアフリカを応援、ご支援ください。よろしく願いいたします。